

# 間伐材 アートに変身



指導する清水さんと、間伐材を使って製作した、いすやベンチ

## 庄原で24日製作講座

いすやベンチ  
木工作家が指導

間伐材を使ってオリジナ 宣輝さん(69)が指導する。 らかじめ用意した間伐材を  
ルのいすやベンチを作ろう 市内の特定非営利活動法 使って製作する。フオーク  
1。庄原市新庄町の「かんぼ 人(NPO法人) 森のバイ やペン立てなども作れる。  
の郷庄原「近くの森で二十 オマス研究会が主催。午前 参加費は昼食などを含  
四日、森の手入れ講座」間伐 十時から午後四時まで、森 み、大学生以上二千五百円、  
材で芸術品!!」が開かれる。 を散策しながら間伐して集 高校生千五百円、中学生以  
同市川北町の木工作家清水 めた材料や、同研究会があ 下八百円。のこぎりなどは

同研究会が用  
意する。雨の  
場合の会場は

近くの「食彩館」しょうばら  
ゆめさくら」となる。

清水さんは「自然の木の  
形を生かした世界に一つし  
かない作品。子どもから団  
塊の世代まで楽しみながら  
作れる」。同研究会は「芸術  
作品の製作を間伐材の活用  
方法の一つとして提案し、  
里山が手入れされるきっか  
けにしたい」と話している。

参加希望者は二十二日午  
後六時半まで、電話かファ  
クスで申し込む。同研究会  
☎0824(73)072  
1(ファクスも)。

(梨本晶夫)

# イスや置物など手作り 森の手入れ講座

NPO法人の森のバイオマス研究会（早田保義理事長）は6月24日、新庄町の「食彩館しょうばらゆめさくら」で広葉樹の間伐材を使ってイスや置物などを作る「森の手入れ講座」を

開いた（写真）。

市内外から約40人が参加し、近くの「かんばの森」で伐採したミスナラやアベマキなどの間伐材を材料にフォークやスプーン、森の動物を象った置物のほ

か、イスなどをノコギリやナタ、ドリルなどを使って製作した。

2人の子どもと参加した三次市江田川之町の会社員松下史朗さん（37）は、国营備北丘陵公園で木工教室講師を務める清水宣輝さん（69）（川北町）から手ほどきを受けながら高さ約1.5メートルの花びんを置く台を製作。松下さんは「子どもたちに木に触れさせてやりたいと思い参加した。興味を感じてくれたのでは」と話していた。

木戸町の安藤明江さん（57）は、無農薬・無化学肥料栽培した野菜をふんだんに入れたブタ汁やダイコンなますなどの「里山料理」を作り、来場者に振る舞った。





# 遊べる森 共につくろう

## 庄原で28日 散歩道やアート制作

遊べて楽しめる森を一緒に作りませんか。庄原市の特定非営利活動法人(NPO法人)森のバイオマス研究会は二十八日、同市川北町の山林を拠点に、参加型の森づくり事業を始める。第一回は「森でアート!」をテーマに、散歩道整備ややオブジェ制作などに取

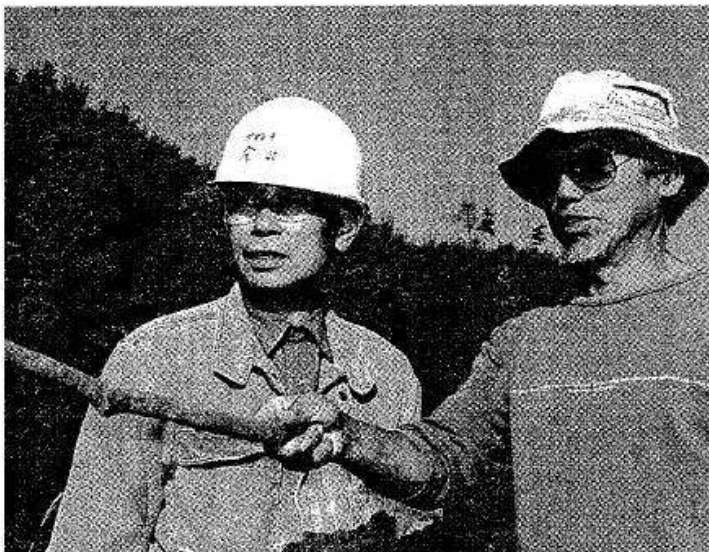
り組む。山林約三分は、所有者の許可を得て整備する。ツツジやアケビのつるなどを残し、腐葉土もなるべく傷めないよう自然に配慮して散歩道をつくる。作業で出た間伐材やつるなどを活用し、いすやオブジェ、かごなどを自由に制作する。

年四、五回開催し、山小屋や野外コンサート広場などもつくる計画。制作指導する近くの木工作家清水宣輝さん(69)は「ただ山をきれいにするだけでなく、また来たい。自然と向き合いたい。自然と向き合いたい。自然と向き合いたい。自然と向き合いたい」と話

している。

午前九時半に同市新庄町の「食彩館」ようばらゆめさくら」に集合し、午後四時まで。保険代を含む参加費は、大人二千円、大学・高校生千円、中学生以下五百円。弁当や飲み物、作業用手袋などは持参。ナタなどの作業道具は貸し出しもある。雨天決行。申し込みは二十七日午後五時まで。同研究会森の手入れ部会

(梨本晶夫)



散歩道の経路などについて話し合う清水さん(右)と、森のバイオマス研究会の金丸等理事

# 三次で探検や植樹 フォーラム

三次市の酒屋地区で1日、「エコパークの森づくりフォーラム」があった。幼児も含め約150人が参加し、森の探検や講演を通じて里山の魅力について考えた。(衣川圭)



森の中でバウムクーヘンを作る子どもたち

「憩いと探検の森」で児童たちは、落ち葉の下の幼虫を探したり、バウムクーヘンを焼いたりした。基調講演した明治大農学部菅野博直准教授は「三次の風土

的な景観のなかに、個性のない外来工法の建造物が建てば違和感がある。その点に想像力を働かせて」などと呼び掛けた。

酒屋地区自治会連合会と森のバイオマス研究会(庄原市)でつくる企画委員会が主催。酒屋地区の森づくりを助成してい

# 児童ら森の魅力実感

るTOTO社員と児童たちによるトングリの苗八本植樹もあった。三太市の酒河小五年坂本太樹君(11)は「大人になったら子どもを連れてきた」と楽しそうに遊んでいた。